平成12年3月期 決算短信

平成12年5月19日

上場会社名 株式会社 カプコン

上場取引所(所属部) 大阪

大阪証券取引所 (市場第一部)

コード番号 9697 本社所在地 大阪市中

大阪市中央区内平野町3丁目1番3号

問合せ先

責任者役職名 専務取締役

同日で元

氏 名 大島 平治

TEL (06)6920-3605

決算取締役会開催日 平成 12 年 5 月 19 日

定時株主総会開催日 平成 12 年 6 月 23 日

中間配当制度の有無有

1 12年3月期の業績(平成11年4月1日~平成12年3月31日)

(1) 経 営 成 績 (注) 本決算短信中の金額は表示金額未満を切り捨てて表示しております。

	売上高	(対前期 増減率)	営業利益	(対前期) 増減率	経常利益	(対前期) 増減率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
12年3月期	36,896	(21.9)	4,749	(165.6)	4,590	(169.8)
11年3月期	30,256	(35.5)	1,788	(76.9)	1,701	(77.3)

	当期純利益	(対前期) 増減率	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期採益	株主資本 当期利益率	総 資 本 経常利益率	売 上 高 経常利益率
	百万円	%	円 銭	円 銭	%	%	%
12年3月期	4,236	(203.5)	118 36	107 34	8.5	4.2	12.4
11年3月期	1,395	(-)	39 66	-	3.3	1.6	5.6

(注) 1 期中平均株式数 [12年3月期 35,791,281株 11年3月期 35,196,011株

2 会計処理の方法の変更

無

(2)配 当 状 況

ſ		1 株 当	á た り 年 間 酉	記当金	配当金総額	配当性向	株主資本
			中間	期末	(年 間)	即当注的	配当率
		円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
	12年3月期	20 00	10 00	10 00	725	17.1	1.3
	11年3月期	20 00	10 00	10 00	698	50.0	1.7

(3) 財 政 状 態

	総 資 産	株主資本	株主資本比率	1 株 当 た り 株 主 資 本
	百万円	百万円	%	円 銭
12年3月期	112,102	57,941	51.7	1,539 87
11年3月期	108,486	42,158	38.9	1,197 82

(注) 1 期末発行済株式数 [12年3月期 37,627,444株 11年3月期 35,196,011株 (額面株式 1単位の株式数 100株) (注)当期中に転換社債の株式への転換請求 により2,431千株発行いたしました。

2 13年3月期の業績予想(平成12年4月1日~平成13年3月31日)

	売 上 高	経常利益	当期純利益	1 株 当	またり 年間に	配 当 金
	沈 工 同	社市心里	コキカドセイリエ	中間	期 末	
	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭	円 銭
中間期	18,000	1,000	600	10 00	-	-
通 期	41,000	6,000	3,500	-	10 00	20 00

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 61円93銭

(注) [平成 12 年 5 月 19 日の株式分割 (1 株を 1.5 株に分割) による新株式 18,813 千株と転換社債の 4 月末現在転換株数 77 千株を含めた株式数 56,518 千株で算出しております。〕

(1)- 比較貸借対照表

					単位:百万円)
期別	当	期	前	期	
	(平成12年3月3	31日)	(平成11年3月	31日)	増 減
科目	金額	構 成 比	金 額	構成比	(印 減)
[資産の部]		%		%	
流動資産	[50,217]	44.8	[44,989]	41.5	[5,228]
現金および預金	22,975		9,450		13,525
受 取 手 形	380		593		213
売 掛 金	6,884		6,768		116
製品	1,034		980		54
原材料	2,095		2,246		151
】 仕 掛 品	64		71		7
ゲームソフト仕掛品	8,947		7,653		1,293
	186		343		157
 映 画 製 作 品	1,525		1,669		144
前払費用	423		705		282
繰 延 税 金 資 産	268		-		268
短期貸 付金	4,956		12,540		7,584
そ の 他	537		2,069		1,531
貸倒引当金	61		105		44
固定資産	[61,885]	55.2	[63,497]	58.5	[1,612]
(有形固定資産)	(36,026)	32.1	(36,536)	33.7	(510)
建物	6,843		7,188		344
構築物	550		625		75
工具器具備品	527		520		7
レンタル機器	709		682		27
アミューズメント施設機器	1,803		1,838		34
土 地	25,516		25,516		-
建設仮勘定	2		75		72
そ の 他	71		90		18
(無形固定資産)	(85)	0.1	(49)	0.0	(36)
(投 資 等)	(25,773)	23.0	(26,911)	24.8	(1,138)
投 資 有 価 証 券	1,924		2,042		117
自 己 株 式	312		397		85
子会社株式および出資金	21,721		21,726		4
長期貸付金	5,955		6,459		504
破産債権更生債権等	1,774		1,776		1
長期前払費用	436		1,101		664
繰 延 税 金 資 産	23		-		23
差 入 保 証 金	4,061		3,833		228
そ の 他	823		839		16
貸倒引当金	3,659		3,665		5
投資等評価引当金	7,600		7,600		-
資 産 合 計	112,102	100.0	108,486	100.0	3,616

期別	当	 期	前	 期		· 日刀口)
	一 (平成12年3月3		(平成11年3月		増	減
科目	金額	構成比	金額	構成比		印減)
[負債の部]		%		%		
流動負債	[19,285]	17.2	[19,634]	18.1	[348]
支 払 手 形	1,858		1,297			561
貴 掛 金	1,784		1,207			577
短 期 借 入 金	11,240		12,641			1,400
未 払 金	2,374		3,215			840
未 払 費 用	901		528			373
未払法人税等	71		33			37
賞与引当金	841		621			220
そ の 他	212		90			122
固定負債	[34,875]	31.1	[46,693]	43.0	[11,817]
転換 社債	32,752		44,866			12,114
長期借入金	327		-			327
長期 未払金	200		285			85
退職給与引当金	212		167			44
長期預り金	1,383		1,374			9
	ļ					
	54,161	48.3	66,327	61.1		12,166
	,		,			,
[資本の部]						
資 本 金	[24,268]	21.7	[18,211]	16.8	[6,056]
法 定 準 備 金	[27,942]	24.9	[21,815]	20.1	[6,126]
資本準備金	27,154		21,097			6,056
利 益 準 備 金	788		718			70
剰 余 金	[5,730]	5.1	[2,131]	2.0	[3,599]
当期未処分利益	5,730		2,131			3,599
(うち当期利益)	(4,236)		(1,395)		(2,840)
	, ,		,		,	
資 本 合 計	57,941	51.7	42,158	38.9		15,782
負債および資本合計	112,102	100.0	108,486	100.0		3,616

(1) - 比較損益計算書

~					(単位:百万円)
期別	当	期	前	期、	
	│ 自 平成 11 年 4	月 1日)	√自 平成 10 年 4	月 1日)	増減
	【至 平成 12 年 3	月 31 日 /	【至 平成 11 年 3	月 31 日 /	(印減)
科目	金 額	百分比	金額	百分比	
		%		%	
売 上 高	36,896	100.0	30,256	100.0	6,640
売 上 原 価	24,112	65.4	20,043	66.3	4,069
売 上 総 利 益	12,784	34.6	10,212	33.7	2,571
販売費および一般管理費	8,034	21.8	8,424	27.8	389
営 業 利 益	4,749	12.9	1,788	5.9	2,961
営業外収益	(811)	2.2	(956)	3.2	(145)
受 取 利 息	403		459		56
受 取 配 当 金	118		44		74
その他の収益	289		452		163
営業 外費 用	(971)	2.6	(1,043)	3.5	(72)
支 払 利 息	516		614		98
為 替 差 損	152		373		220
その他の費用	302		54		247
経 常 利 益	4,590	12.4	1,701	5.6	2,888
特別 利 益	(328)	0.9	(357)	1.2	(28)
固定資産売却益	8		50		41
貸倒引当金戻入益	85		-		85
投資有価証券売却益	-		307		307
自己株式売却益	234		-		234
特別損失	(375)	1.0	(630)	2.1	(254)
固定資産売却損	0		7		7
固定資産除却損	258		35		222
投資有価証券評価損	117		143		26
貸 倒 損 失	-		22		22
貸倒引当金繰入額	-		64		64
子会社整理損	-		356		356
税引前当期利益	4,543	12.3	1,429	4.7	3,114
法人税、住民税および事業税	464	1.2	33	0.1	431
法人税等調整額	157	0.4	-	-	157
当期利益	4,236	11.5	1,395	4 . 6	2,840
前期繰越利益	1,747		1,119		627
過年度税効果調整額	133		-		133
中間配当額	351		349		2
中間配当に伴う利益準備金積立額	35		34		0
当期未処分利益	5,730		2,131		3,599

(1) - 比較利益処分案

(単位:百万円)

					T		<u>u. d), n</u>
`			期	別	当期	前期	
					f	│	増 減
科	目				至 平成 12 年 3 月 31 日	至 平成 11 年 3 月 31 日 /	(印減)
当	期末	₹ 処	分 利	益	5,730	2,131	3,599
これ	を次のと	とおり処	分にし	ます。			
利	益	準	備	金	43	34	8
利	益	配	当	金	374	349	24
					(1株につき 10円)	(1株につき 10円)	
役	員	賞	与	金	60	-	60
(-	うち盟	盆査 役	賞与金	:)	(4)	-	(4)
別	途	積	立	金	3,500	-	3,500
次	期	繰	或 利	益	1,753	1,747	6

-(注)平成 11 年 12 月 3 日に 351 百万円(1 株につき 10 円)の中間配当を実施しました。

注 記事項

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準および評価方法

取引所の相場のある有価証券.....総平均法に基づく低価法(洗替え方式)

取引所の相場のない有価証券.....総平均法に基づく原価法

(2) たな卸資産の評価基準および評価方法

仕 掛 品......移動平均法による低価法

ゲ ー ム ソ フ ト 仕 掛 品......32 ビット機以降に発売された機種に対応するゲームソフトの

開発費(コンテンツ部分及びコンテンツと不可分のソフトウェ

ア部分)であり、個別法による原価法

貯 蔵 品......最終仕入原価法による低価法

なお、原価は予想総収益に対する各年度の収益割合に応じて償

却しております。

(3) 固定資産の減価償却方法

有 形 固 定 資 産…………法人税法に規定する方法と同一の基準を採用しており、建物

(建物附属設備を除く)は定額法、建物以外については定率

法によっております。

無 形 固 定 資 産……………自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能

期間(5年間)に基づく定額法、それ以外の無形固定資産に

ついては、法人税法に規定する定額法

長期前払費用......法人税法に規定する定額法

(4) 繰延資産の処理方法

開 発 費......ゲームソフト仕掛品に含まれる 32 ビット機以降に発売され

た機種に対応するゲームソフトの開発費(コンテンツ部分及 びコンテンツと不可分のソフトウェア部分)を除き、支出時に

全額費用として処理しております。

(5) 引当金の計上基準

貸 倒 引 当 金……………売上債権および貸付金等の貸倒れによる損失に備えるため、法

人税法の規定による繰入限度相当額(法定繰入率基準)のほか

債権の回収の難易などを検討して計上しております。

投 資 等 評 価 引 当 金......子会社株式の実質価額の低落による損失に備えるため、子会社

の財政状態等に基づく損失見積額を計上しております。

込額のうち当期に負担すべき額を計上しております。

退職給与引当金…………従業員に対する退職給与の支給に充てるため、期末現在の自己

都合退職による退職給与要支給額の2分の1については適格 退職年金制度を採用しており、残り2分の1については40%

相当額を計上しております。

(6) 収益の認識基準

映像事業のうち、映画事業の収益は、当期中の上映期間に係る収入額を計上しております。

(7) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通 常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

(8) 消費税等の処理方法

税抜方式によっております。

(9) 税効果会計の適用

当期より「株式会社の貸借対照表、損益計算書、営業報告書及び附属明細書に関する規則」の改正に伴い、会計上の利益と税金費用との対応関係をより適正なものとするため、税効果会計を適用しております。これに伴い、従来の方法に比べ資産が291百万円増加するとともに、当期利益は157百万円、当期未処分利益は291百万円多く計上されております。

2. 貸借対照表の注記

	(当期)	(前期)
(1)ス会社に対する短期全然傳統		
(1)子会社に対する短期金銭債権	7,048 百万円	16,016 百万円
子会社に対する長期金銭債権	5,955 百万円	6,339 百万円
子会社に対する短期金銭債務	1,048 百万円	1,025 百万円
子会社に対する長期金銭債務	2 百万円	2 百万円
(2)有形固定資産の減価償却累計額	12,763 百万円	13,304 百万円
(3)担保に供している資産		
土 地	6,007 百万円	6,007 百万円
(4)保証債務		
国内子会社	3 百万円	313 百万円
海外子会社	149 百万円	244 百万円
(5)自己株式の数および貸借対照表価額		
流動資産に含まれるもの	635 株	277 株
	3 百万円	0 百万円
固定資産に含まれるもの	226,000 株	288,000 株
	312 百万円	397 百万円
2 担分は答表の注句		
3. 損益計算書の注記	()	, <u></u>
子会社との取引高	(当期)	(前 期)
売 上 高	5,573 百万円	4,071 百万円
仕 入 高	17 百万円	14 百万円
その他の営業費用	62 百万円	75 百万円
営業取引以外の取引高	547 百万円	531 百万円

(追加情報)

「研究開発費及びソフトウェアの会計処理に関する実務指針」(日本公認会計士協会・会計制度委員会報告第12号 平成11年3月31日)の適用により、自社利用ソフトウェアの減価償却については、前期において法人税法の規定による定額法によっておりましたが、当期においては社内における利用可能期間(5年間)に基づく定額法によっております。

なお、自社利用のソフトウェアは、前期においては「長期前払費用」(215百万円)に含めて表示しておりましたが、当期においては「無形固定資産」(45百万円)に含めて表示しております。

また、市場販売目的のゲームソフトに含まれるソフトウェア部分については、コンテンツと不可分であるためコンテンツ部分と同様に費用発生時に「ゲームソフト仕掛品」に計上し、発売時に売上原価に含めております。

4. リース取引関係

(1)リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引

リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額および期末残高相当額 (単位:百万円)

A A LOST I SE INTO IT HAN IN			
	取得価額相当額	減価償却累計額相当額	期末残高相当額
機械及び装置	250	85	165
工具器具備品	3,227	1,981	1,245
その他	1,369	529	839
슴 計	4.846	2.597	2.249

なお、取得価額相当額は、未経過リース料期末残高が有形固定資産の期末残高等に占める割合が低い ため、支払利子込み法により算定しております。

未経過リース料期末残高相当額

	(当 期)	(前期)
1 年 内	971 百万円	1,058 百万円
1 年 超	1,277 百万円	1,380 百万円
	2 240 百万円	

なお、未経過リース料期末残高相当額は、未経過リース料期末残高が有形固定資産の期末残高等に占める割合が低いため、支払利子込み法により算定しております。

支払リース料および減価償却相当額

	(当期)	(前期)
支払リース料	1,211 百万円	1,111 百万円
減価償却相当額	1,211 百万円	1,111 百万円

減価償却相当額の算定方法

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

(2)オペレーティング・リース取引

未経過リース料	(当 期)	(前 期)
1 年 内	546 百万円	546 百万円
1 年 超	2,974 百万円	3,521 百万円
	3.521 百万円	4.067 百万円

(2)部門別売上高

	 、 期 別		 当	——————— 期		———— 前	期		<u> </u>
	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	(自		₹4月1日入	(自		- 4月 1日 \	増	減
		至		· /3 / / / · / · / · / · / · / · / · / ·	至		₹3月31日)	(印 減)
科	目	金	額	構成比	金	額	構成比	,	,
				%			%		
製 コンシューマ用機器	(5,532)	(15.0)	(4,807)	(15.9)	(724)	
	コンノユ (八)「成品」		22,936	62.2		16,668	55.1		6,268
品 業務用機器	(800)	(2.2)	(1,275)	(4.2)	(475)	
	業務用機器		3,800	10.3		4,874	16.1		1,073
レ	ンタル機器収入		1,085	2.9		1,494	4.9		408
752	ーズメント施設収入		5,175	14.0		4,434	14.7		740
	′ヤリティその他	(717)	(1.9)	(1,424)	(4.7)	(706)
			3,899	10.6		2,784	9.2		1,114
1	合 計	(7,051)	(19.1)	(7,507)	(24.8)	(456)
			36,896	100.0		30,256	100.0		6,640

⁽注)括弧内の数字(内書)は輸出販売金額であります。

(3)役員の異動(平成12年6月23日付)

1. 代表者の異動

該当事項はありません。

2. その他の役員の異動

該当事項はありません。